

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 071	提案機関名 一般財団法人神奈川県内水面漁業振興会
要望問題名	アユ種苗生産の初期に発生するビブリオ病に関する試験研究
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】	この数年、アユ種苗生産の初期に発生するビブリオ病による大量への死が問題となっている。様々な対策は行っているものの、解決には至らず毎年発生している。安定的な生産を行うために、ビブリオ病の発生を抑える方法を確立してほしい。
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター    ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) アユ人工種苗研究		
対応の内容等	アユ種苗生産の初期飼育段階におけるビブリオ病対策は重要な課題として認識しており、これまで対策として、初期飼育水の塩分調整や投薬、当场から提供したバチルス菌の添加による底質改善及びビブリオ菌増殖抑制などの対策を指導・支援してまいりました。令和5年度は、飼育施設の消毒方法への助言やビブリオ菌のモニタリングのほか、バチルス菌添加と塩分調整を組み合わせたビブリオ菌増殖の抑制効果検討に取り組むとともに、巡回指導などから飼育状況を共有し、生産現場と連携してビブリオ病の発生を抑制する方法の確立に努めてまいります。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			